

両河内地区 施設一体型小中一貫校化 に関する説明会

令和2年10月
静岡市教育委員会事務局

本日の目的

第1回地元説明会での意見等を踏まえた市教育委員会としての対応方針を説明

- 1 小中一貫教育グランドデザイン
(教育課程) について
- 2 施設整備案について
- 3 通学支援策について
- 4 今後の予定

1 小中一貫教育 グランドデザイン について

3

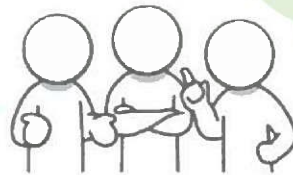
1 仮称清水両河内小中学校グランドデザイン

様々なことに
前向きに
挑戦してほしい

ふるさと両河内を
大切にしてほしい

外部の人と交流し、
コミュニケーション力・
発信力をつけてほしい

これからの時代に必要な
力をつけてほしい
(英語力・ICT活用力等)



地域・保護者の願い

卒業後も発揮できる
主体的に取り組む力・
リーダーシップを
つけてほしい

目指す子ども像

ふるさと両河内に誇りをもち、
豊かに表現できるたくましい子

4

新設校に向けての 現在の取組

5

1 - ① ふるさとに誇りを持つ教育活動

ディスカバー両河内

「総合的な学習の時間」9年間の学び

目指す子ども像

ふるさと両河内に誇りを持ち、
豊かに表現できるたくましい子

- 前期ステップ（1・2・3年）
『両河内を知る』
- 中期ステップ（4・5・6年）
『両河内の人の生き方に学ぶ』
- 後期ステップ（中1・2・3年）
『両河内に貢献（恩返し）する』

※自らの考えでできる

9年間を通して育む資質・能力



6

1 - ① ふるさとに誇りを持つ教育活動

両河内茶で交流を広げよう



- 地域の方とのかかわりで、両河内の良さを感じている。
- 交流活動に主体的に取り組もうとする姿勢が身につけている。

7

1 - ① ふるさとに誇りを持つ教育活動

両河内の良さを発信しよう



- 何度もやりとりする中で、両河内のよさを再発見している。
- 良さが伝わるよう何度も修正することで、表現力を身につけている。

8

1 - ② コミュニケーション力の育成

ICTを活用した合同授業



- 英語で様々な人とコミュニケーションする力が、ついてきている。
- リモートで相手と話すことに慣れている。

9

1 - ② コミュニケーション力の育成

福島県 小高中と遠隔交流



- 距離を超えて福島県の子どもと同級生としてコミュニケーションをとる力が育っている。
- 両河内が誇るお茶を仲立ちにして、自分たちを表現する企画力が育っている。

10

1 - ② コミュニケーション力の育成

リモートで地域貢献しよう



- 事前打合せを生徒が行い、交渉する力をつけた。
- 相手に合わせて企画する・話す受け答える力をつけた。
- みんなで楽しい時間をすごした。

11

1 - ③ 一体感を育む取組

今年度の取組 和田島小・両河内中 合同体育祭



9年間の異年齢の仲間と

- 小1から中3までの一体感を味わうことができた。
- 運営や準備などに全員が全力でかわり、創り上げた。

12

1 - ③ 一体感を育む取組

今年度の取組 3小合同リレー大会



人間関係の変化

(子どもたちの声)

- おおぜいの子と走れて楽しかった。
- 同じ学年の子と競う経験ができてよかった。
- 学校対抗だったので校内でやるリレーより勝ちたい気持ちが強くなった。

13

1 - ③ 一体感を育む取組

今年度の取組 3小合同道徳の授業



人間関係の変化

(子どもたちの声)

- 6年生が17名もいて、いろいろな考え方にふれることができた。
- グループもたくさんで、話し合いが活発だった。
- 4月から同じ教室で勉強するのが楽しみ。

14

2 新しい学校の 施設整備案

15

2 - ① 小学校棟の新設



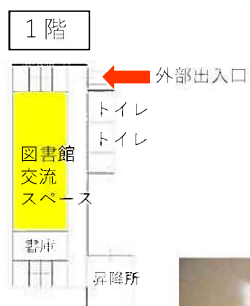
16

2 - ① 新校舎の整備の考え方

- 新設校を実感できるように窓を大きくとり、明るく温かみのある新校舎
- 木材の仕上げを使用し、山と一緒に生きてきた両河内を知り感じることでできる内装
- 地域の人々と交流しやすい設計

17

2 - ① 小学校棟の新設について

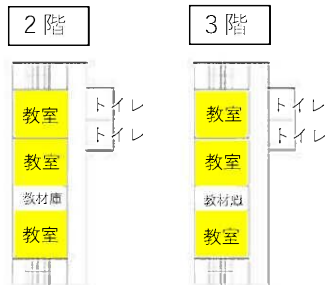


- 地域の方も入りやすい特別の出入口
- 木材を多用した室内環境



18

2 - ① 小学校棟の新設について



- 柱のない広い空間と木材の温かみのある教室

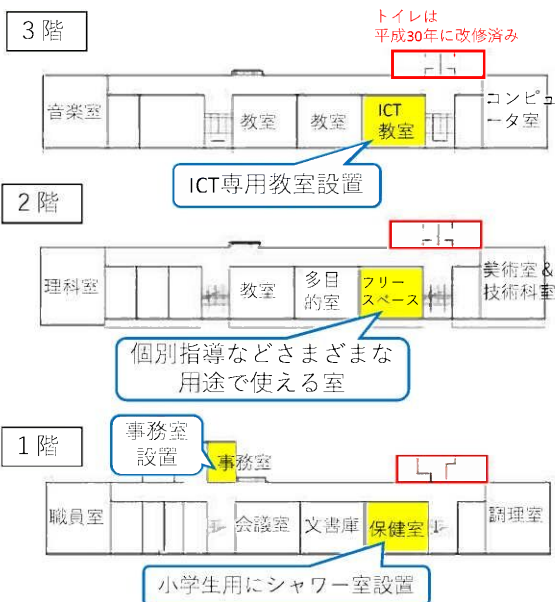


新設教室 ※イメージ 19

2 - ② 中学校棟の改修の考え方

- 新しい学校ができたという気持ちになれるように外壁改修や内装改修を行う。
- 小中の教員が相談し、9年の成長を見守れるよう一つの職員室とする。保健室など小学生もよく使う施設は1階に配置。
- 地域との交流が増えることから事務室を入口が見えやすいところに配置し、安心できる学校環境とする。

2 - ② 施設整備について



<中学校棟校舎改修内容>
外装：外壁塗装改修
内装：一部の教室、廊下等の
内装リニューアル



21

3 通学支援策について

22

3 スクールバスによる通学支援について



23

3 スクールバスによる通学支援について

(1) 対象者

- 西河内小学区、中河内小学区の全児童生徒
- 和田島小学区の遠方の児童生徒

※スクールバスを利用しないで、片道4 km以上を自転車通学する中学生には、これまでと同様に通学用品を補助する。

(2) 乗降車の間隔など (予定)

- ココバスのバス停を利用
- 登下校

大平方面	車両 2 台利用
板井沢方面	車両 2 台利用

24

3 スクールバスによる通学支援について

(3) 整備概要 (予定)

- スクールバスを4台整備
(大2台、小2台)

- 2路線を整備

大平方面 ⇔ 両河内中

(大平奥、貝伏、布沢、葛沢、高山を含む)

板井沢方面 ⇔ 両河内中

(湯沢、樽、清地を含む)



25

4 今後の予定

26

4 今後の予定

1. 新しい学校名の公募

(11月～12月：募集、1～2月：選定、3月：決定)

2. 地域の方とリモート交流を実施

3. 両河内サポーターズクラブの体制や、 交流スペースの運用方法を検討

4. 子どもたちが自ら企画する新しい学校 をつくるための取組を応援していただき きたい。(合同体育祭の企画など)